

2024年度 第7回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2024年10月22日（火）

場 所 豊岡市役所本庁舎3階 庁議室

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午前9時30分

閉会時間 午前10時15分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	飯田 正巳
委員	向井 美紀
委員	升田 敏行
委員	鈴木 千佳

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に出席した者の氏名

事務局	教育次長	正木 一郎
	教育総務課長	木之瀬 晋弥
	学校教育課長	寺坂 浩司
	学校教育課参事	吉谷 孝憲
	幼児育成課長	向原 芳江
	社会教育課長	旭 和則
	教育総務課参事兼課長補佐	栗垣 敦子
	教育総務課教育総務係長	足立 美由紀

事務局以外 こども支援課こども支援センター所長 鳥居 保

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

向井 美紀 委員

第2 前回の会議録の承認

2024年9月26日（木）開催 第6回定例会

第3 教育長の報告

第4 議事

- 報告第15号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市小・中学校児童・生徒各種大会派遣費補助金）
- 報告第16号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について（豊岡市延長保育事業補助金・豊岡市一時預かり保育事業補助金・豊岡市実費徴収に係る補足給付事業補助金・豊岡市保育対策総合支援事業補助金・豊岡市一時預かり利用者負担軽減事業補助金・豊岡市認可保育所等運営支援事業補助金）

第5 協議事項

- 1 豊岡市奨学金等の対象者の拡大について（案）

第6 教育委員会事務局の報告

- 1 学校教育課
 - (1) 生徒指導について
 - (2) 「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて
- 2 幼児育成課
 - (1) 2025年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について
 - (2) 2025年度放課後児童クラブの入所者募集について

第7 こども未来部の報告

- 1 こども支援課
 - (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

第8 委員活動報告

第9 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

開会 午前9時30分

（教育長）

ただ今から、2024 年度第7回教育委員会会議を開会します。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

【日程 第1 会議録署名委員の指名】

（教育長）

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、向井委員にお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

続きまして、日程第2 前回の会議録の承認についてです。9月26日に開催しました第6回定例教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回9月26日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

《教育長の報告概要》

今月は視察が2件ありました。1件は9月27日の石川県志賀町からです。被災で大変なところですが、竹野の義務教育学校関係の視察に来られました。被災して小学校が倒壊し、やむを得ず近隣の中学校の校舎で一緒に学ぶことで、おのずから小中一貫校になった。せっかく小中一貫校になったため、カリキュラムや学校の制度についてこれから整えていきたい。そのような目的で、今検討中の竹野の義務教育学校がどのような経過でどんなことを検討しているのかを視察に来られました。

2つ目は10月16日、岐阜県恵那市の教育委員会が視察に来られました。恵那の教育はかつて生活綴方教育で全国に知れ渡っていました。東井先生の教育も生活綴方的教育方法と言われていましたが、恵那は女性の素晴らしい教育実践家、丹羽徳子氏が中心となり、教科書中心の教育から、子どもが書いたものの中から学習の材料を見つけ、学習をできるだけ子どもの生活に手繰り寄せるといった教育を進めていました。現在で言えば、総合的な学習に近いものです。

実は、5月に世田谷でのシンポジウムに登壇したとき、芸能プロダクションのホリプロの方が来ており、恵那市でこれから演劇ワークショップをしたいと話しておられました。彼らは彼らで面白いプログラムを作られると思いますので、私たちも参考にしながら一緒にプログラム開発ができたと思います。

それから学力テスト結果が7月に公表され、各校で課題への対策を立てています。例えば、中心となる課題は正答率40%以下の児童生徒たちの対応をどうするかです。学力に関しては、ここ1、2年で特に小学校も中学校も学校によって正答率の格差が出ていることです。いろいろな要因はあると思いますが、1つはコロナ禍の時期は学校訪問もままならず校内研修や授業研究を全て学校任せにしました。教育委員会は全然関与していない状況が続きました。学校訪問も半日で、授業研究も中に入らずにやってきました。そのため管理職はリーダーシップが取れているところとか、あるいは中堅の教員が熱心にやっているところは授業研究や校内の研究協議がうまく

進められていますが、そうでないところ、うまくいっていないところもあります。校内研修の報告書や市教委が実施する研修会の感想等を見ると、その差が開いてきたように感じています。

正答率 40%以下の児童生徒が多いのは、子どもたちの資質や能力のせいではなく、それは自分達の授業に原因があるのではないかと考えることがとても大切だと思います。ずっと昭和のような授業をしていていいのだろうかということです。全国学力・学習状況調査は、学力の一部であり、これで学力全てを測れるものではないとはいえ、圧倒的に専門性の高い人達が、今求められている教育観や授業観を問題に落とし込んでいるため、これはすごく大切にしなければいけない私達の授業のための評価基準だと思います。私達も反省しなくてはならない。全て学校に丸投げにした私達にも責任があるため、今後、校内授業研究に指導主事や研修センター職員を一緒に参加させてもらいます。そして課題を共有しながら授業の中で学力をつけるということ。あるいは研修の中で教員の授業の力をつけることを一緒に考えていきたいと思います。

早速ですが、福住小学校から1日研修の希望が出ました。委員の皆さんも学校訪問時に私が今言ったことを意識して、私達が気にしなくてはいけないのは正答率4割を下回る児童たちにどうしたらよいのか。そこを質問してやり取りができたかと考えています。正答率を上げるのではなく、その4割の児童たちを放ったらかさないということで、私達の責任においてそれをしていきたいという思いです。

最後ですが、東井先生のごことが4年生の社会の教科書に出ました。「村を育てる学力に心を砕いた先生」というタイトルです。まもなく中筋小学校で但馬の社会科の研究会がありますが、その教材を取り扱うということです。オープンな研究会ですので、ぜひ見たいと思われる方は参加してください。それから、もう少し遅くなりますが、合橋小学校と資母小学校でも授業を公開します。東井先生のお膝元の地元の子たちがこの教材をどのように学ぶのか、これは探求の学びにもなります。改めて委員の皆さんに案内します。

【日程 第4 議事】

それでは、日程第4 議事に移ります。報告第15号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、学校教育課参事の説明をお願いします。

○ 報告第15号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《学校教育課参事の説明概要》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

豊岡市の小・中学校の児童・生徒各大会派遣費補助金の対象経費を拡充するための改正である。改正内容は、「(6)その他市長が必要と認めるもの」と項目を追加した。10月から銀行振り込みの手数料が有料化したことに伴い、振込手数料についても補助金の対象経費とする。振込手数料を対象とする詳細については、取扱要領の中で記載している。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

具体的にどのような事例がありますか。

(教育総務課参事)

大会派遣費ですので、例えばバスを借り上げる時にバス会社に借り上げ料を払うのですが、振り込みをしたら10月1日から振込手数料が発生するので、従来振込手数料は補助対象にしていなため、それをどのようにするかと学校から相談がありまして、検討した結果、振込手数料もバス借り上げ料の一部として補助対象に加えるべきと判断しました。

(教育長)

それでは、報告第15号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、ご承知おきください。

続きまして、報告第16号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、幼児育成課長の説明をお願いします。

○ 報告第16号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について

《幼児育成課長の説明概要》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、資料に基づき説明する。

改正の理由は、こども家庭庁から子ども・子育て支援交付金に関する実施要綱並びに交付要綱、保育所等業務効率化推進事業実施要綱、保育環境改善等事業実施要綱及び保育体制強化事業実施要綱が発出されたことに伴い、所要の規定の整備を行うためである。改正の内容として、幼児育成課が所管する補助金について、新旧対象表のとおり改正するものである。国の交付金等事業実施要綱が改正されたことに伴う改正である。主に補助基準額の改正のほか、新型コロナウイルス感染症対策関連事業、送迎バスの置き去り防止対策事業が廃止されているが、廃止事業については、昨年度までで対策済みとなっている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

子どもを保育園で普段預けていない、自宅で保育している方も該当しますか。

(幼児育成課長)

主に保育園・認定こども園に対しての補助金のため、自宅保育の方は該当しません。

(教育長)

それでは、報告第16号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の一部を改正する要綱制定について、ご承知おきください。

【日程 第5 協議事項】

(教育長)

日程第5 協議事項に移ります。豊岡市奨学金等の対象者の拡大について、教育総務課長の説明をお願いします。

1 豊岡市奨学金等の対象者の拡大について（案）

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市奨学金等の対象者の拡大について（案）、資料に基づき説明する。

豊岡市奨学金、豊岡市交通遺児奨学金の現在対象となっていない専門学校の学生を対象に拡大しようというものである。追加の対象者については、専修学校の専門課程の方全員ではなく、①と②のいずれかを満たす者としている。

1つ目は、文部科学大臣が指定する修了者が、専門士または高度専門士と称することができる専修学校専門課程としている。専門士は修了年限が2年以上、総授業時数が1700時間以上、試験等により成績評価を行い、評価に基づき卒業の認定を行うとしている。高度専門士は修了年限が4年以上、総授業時数が3400時間以上としている。これらに絞った理由は、文部科学省で専門学校から大学、また大学院への編入の仕組みがある。専門士や高度専門士の資格を与えられる基準が、おおむね大学への編入基準を満たしているため、大学1～2年間または大学4年間で学べる内容と同程度の内容を専門学校で学ぶことが担保できている。そのため、専門士または高度専門士を対象としている。

2つ目は、看護師資格取得後の専修学校専門課程で、保健師または助産師の養成課程でどちらも1年制であるが、これも付け加える。具体的には、県立日高高校の看護科を3年間学習した後、専攻科で2年学習すると、計5年の学習を行うことで看護師の国家試験の受験資格が得られる。看護師の資格を得ると、その後1年間専門学校に通うと保健師または助産師の資格を取得できる仕組みがあるため、看護師資格取得後の専修学校専門課程も奨学金の対象に含めたい。

子どもたちの進学先について、豊岡市内の県立高校のうち、豊岡高校は進学校のため専門学校への進学は数人であるが、豊岡総合高校や出石高校は、各学校のホームページで進路を参照した結果、大学への進学者数と専門学校への進学者数がほぼ同数である。それぞれの高校においては、専門学校への進学も有力な進学先として子どもたちも考えている状況であるため、奨学金の対象として拡大したい。

収入基準について、専門学校の学生は日本学生支援機構の奨学金の対象であるため、基準を準用し審査していく。貸与額は大学程度と考えている。

豊岡市奨学基金の状況として、現在2億円の現金があるため、奨学金の貸与学生が増えても概ね問題なく基金の運営も可能である。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

議会での件はクリアできるのですね。

(教育次長)

専門学校への拡大については対応できると思います。ただ、入学準備金や給付型についても指摘があり、こちらについては検討する余地があると考えます。特に準備金については、今の基金をそのまま使うわけにはいかず、制度を一から構築する必要があるため、検討させていただきたい。

(飯田委員)

交通遺児奨学金は、あくまでも本人の申請主義ですか。

(教育総務課長)

そうです。

(教育長)

皆さんから概ね理解をいただいたと思います。しかし、課題は課題なので、全てを精査することとは難しいですが、一つ一つ片付けていきたい。

【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。学校教育課 (1) 生徒指導について、学校教育課長の説明をお願いします。

1 学校教育課

(1) 生徒指導について

《学校教育課長の説明概要》

生徒指導について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(教育長)

不登校の新規がかなり抑え込まれた。なぜなのかをしっかりと分析しながら繋げていく必要がある。

(学校教育課長)

去年は急激に増えたこともあったため、この流れを2年置きの間隔で考える必要があると思う。

(教育長)

続きまして、(2) 「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて、学校教育課長の説明をお願いします。

(2) 「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて

《学校教育課長の説明概要》

「非認知能力向上対策事業」ガバメントクラウドファンディングについて、資料に基づき説明する。

今年も力を入れ、チラシ等を作成し、庁内でも幅広く声掛けをしている。現時点で 23 万 2 千円、支援人数は 4 人である。年末まで実施しているため、教育委員会の皆様からもお声かけいただきたい。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(向井委員)

昨年も実施され、目標額もたくさん集まったと聞いているが。

(学校教育課長)

一昨年はとても多く、昨年は少なかった。

(向井委員)

一昨年はモデル校だけだったが、今は全校で進めていて、経費もたくさんいるということですか。

(学校教育課長)

そのとおりです。

(教育長)

次に、幼児育成課からの報告に移ります。(1) 2025 年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について、(2) 2025 年度放課後児童クラブの入所者募集について、幼児育成課長の説明をお願いします。

2 幼児育成課

(1) 2025年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について

《幼児育成課長の説明概要》

2025年度幼稚園・保育園・認定こども園の入園児募集について、資料に基づき説明する。

例年11月から翌年度の入園児を募集している。本年度は11月8日（金）から11月29日（金）までとしている。申し込みを受け、来年度に向け全体的な入所の調整を行う。申し込み方法は、幼稚園・保育園・認定こども園で若干違いがある。幼稚園と認定こども園の教育認定児1号は、各幼稚園・こども園にて申し込みをしていただく。保育園と認定こども園の保育認定児2号・3号の子どもは、幼児育成課又は第1希望の園へ申し込み書類を提出するが、オンライン申請も可能。オンラインの申請は昨年からは始めている。昨年のオンラインの申請は2割弱だった。本日から防

災無線で伝えている。広報とよおか11月号に記載しており、市のホームページにも来年度募集を更新し、市民の皆さんに周知をする。

(2) 2025年度放課後児童クラブの入所者募集について

《幼児育成課長の説明概要》

2025年度放課後児童クラブの入所者募集について、資料に基づき説明する。

翌年度の入所者募集について、例年は園児募集と足並みを揃えており、本年度も同じ日程で募集する。申し込み方法は、オンライン申請か窓口申請である。窓口申請の場合は幼児育成課、各振興局地域振興課で受付をする。なお継続の申込者のみ各児童クラブでも受付をする。オンライン申請は園より1年早く始めており、今年度で3年目となる。去年のオンライン申請は300件程度あり、全体の約2割5分であった。放課後児童クラブの募集についても広報とよおか11月号に掲載する。市のホームページも更新し、防災無線でも放送する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

保育認定児はオンライン申請ですが、教育認定児は各認定子ども園だけの申し込みですか。オンライン申請はできませんか。

(幼児育成課長)

オンライン申請は受け付けていません。

(向井委員)

それはなぜですか。

(幼児育成課長)

希望の園に申請するためです。園長が入所できるかできないかを判断するため、入所調整の必要がありません。

(鈴木委員)

公立の幼稚園について、入園者が年々少なくなっており、1学年1クラスできるところが少ない状況を踏まえ、今認可保育施設に入所している人も、保護者の都合によって幼稚園を選択できる人がいれば、案内してもいいのではと思う。

(幼児育成課長)

わかりました。

(教育長)

これで各課からの報告を終了します。

【日程 第7 こども未来部の報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 こども未来部からの報告に移ります。こども支援課 (1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども支援センター所長の説明をお願いします。

1 こども支援課

(1) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

《こども支援センター所長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

9月の報告の前に、8月分の差替えについて報告する。8月の家庭児童相談係の実件数に記入漏れがあった。修正した資料と差し替えている。

9月の子ども家庭児童センターの活動報告を行う。

不登校の取組状況は、開所日数は17日、実通所人数24人である。平均すると1日10.6人。新規通所者が6名、内訳は、小学生が4名、中学生が2名。4月からの実人数は31人。

新規小学生の幼さからくる言動に距離を取りたがる中学生も出てきているが、中学生の苦手なことへの耐性を高める機会となるよう、見守りと話を聞くことを丁寧に行った。

1学期に効果を感じた授業形式による学習時間を、個々が落ち着き、他者を尊重する場面として、活用し継続したいと考えている。

特別支援の取組状況は、新規5件中、支援学級への入級の検査依頼が1件ある。その他こども未来課からの依頼が5件ある。8月に向けた依頼が多いため、参観、面談、検査等が9月後半にかかり、今月受けた依頼の対応が10月になるケースが生じた。

放課後児童クラブ支援員研修の講師として、本センターの心理士を2回派遣している。

家庭児童相談の取組状況は、児童虐待通告が4件、2世帯4人である。家庭相談員の対応件数は722件である。訪問回数は54回である。

(教育長)

ご意見やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

【日程 第8 委員活動報告】

(教育長)

日程第8 委員活動内容に移ります。特に伝えたいことがありましたら、お願いします。

(飯田委員)

A小学校の運動会に行った際、暑かったため子どもたちがお茶を持ってきました。その際「来ていただいてありがとうございます」「頑張るから見てくださいね」「応援してくださいね」と書いてあるメモを配っていました。地域の皆さんはそれに感動しておられ、それが地域と学校との繋が

りや、「もっと協力しないといけないな」という歩み寄りに繋がるなと思いました。何か所か学校を回りましたが、そのようなケースは一度もないため、地域の学校だなという印象を受けました。そのような小さなことで、来賓として行かれた方は感動されて、いいなと思いました。

(鈴木委員)

先月今月と運動会に行きました。どの学校園も工夫されており、本当に元気をいただける、素晴らしい運動会・体育祭でした。ただ、どこの学校園でも、9月の練習中の暑さや熱中症対策に苦労されているように感じました。9月でも真夏のような暑さが続いていることを踏まえると、運動会の開催時期を考えるタイミングがきているのではないかと思います。

(教育長)

学校教育課長、何かありますか。

(学校教育課長)

毎年その議論はあります。学校現場もなるべく子どもに負担のない時期にしたいということはあるが、年間行事としてまとめた時間の確保が難しい部分もあり、今後気象も考慮し、必ず9月10月にしないといけないわけではないため、議論を継続していきたいと思います。

(教育長)

開催はかなり遅くなっています。豊岡南中学校と豊岡北中学校は平日で10月に開催しています。中学校はその時期、土日は大会が入っていて、それを避けると平日開催しかない。でも平日開催してもそれなりに保護者が来るため、それを含めること。地域の運動会と一緒にしているところは地域の融通が利かなくなかなか変わらない。それから練習場所です。外ではなく体育館で行うため、体育館の空調をどうするか。よい方向になるよう検討中です。

【日程 第9 教育委員会活動予定】

(教育長)

続きまして、日程第9 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や、今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第8回教育委員会会議は、11月28日（木）午後2時00分から、市役所竹野庁舎1階大会議室で開催する。

2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんでしょうか。

それでは、次回の教育委員会会議は、11 月 28 日（木）午後 2 時 00 分から、市役所竹野庁舎 1 階大会議室で開催します。

これをもちまして、第 7 回教育委員会会議を閉会いたします。

閉会 午前10時15分

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2024年10月22日

教育長

委 員